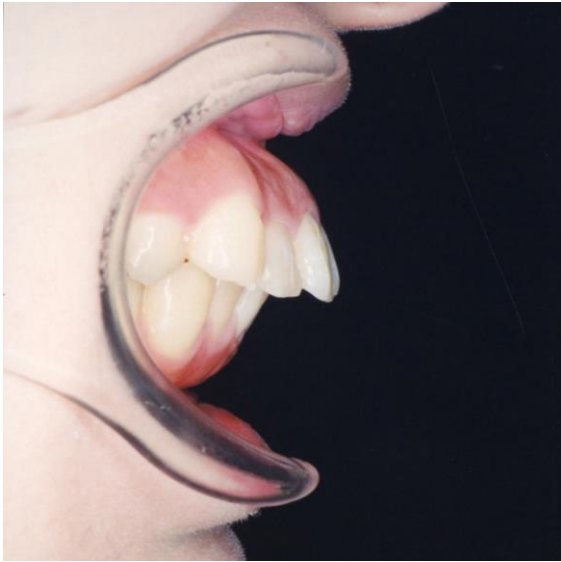


大人の矯正 上突咬合(上顎前突・上下顎の出っ歯・偏位咬合を伴う)

治療前

治療後



■ 症状

患者さん 20歳7ヶ月 女性

主訴 歯が出ている

所見 上の前歯が著しく前方に突出している。下の前歯も前傾している。
それに伴って口元が突出し、口唇が閉じるのが困難になっている。
上下の歯列が前後的に大きくズレている。
上下の歯列の真ん中が合っていない。

■ 治療について

治療期間 3年11ヶ月(前歯の移動距離がかなり大きかったために長めの治療期間になった)

治療内容 上顎左右4番と左右6番、下顎右5番、左4番、左8番目を抜歯して
エッジワイズ装置を用いて歯並びと咬み合わせ、およびそれを伴う口唇(口元)の
改善を行いました。
上顎左右8番目の歯(親知らず)は咬合に参加させてかみ合わせをつくっています。
(下レントゲン参照)



■ 治療について

■ 咬み合わせの改善



上下歯列の正中のズレと前後的なズレを改善して、しっかり咬むように仕上げています。
特に奥歯は上の歯の尖った部分が下の歯と歯の間にかみこむ「1歯対2歯」の咬合に
仕上がっているのがポイントです。



前歯の突出が大きく、前歯をかなりの量をひっこめないで口元の改善ができませんでした。
前歯を大きくひっこめるための抜歯スペースが必要です。

■ 治療途中



スペースに向かって前歯を大きく動かしていきます。
この際口元が大きく改善されていきました。

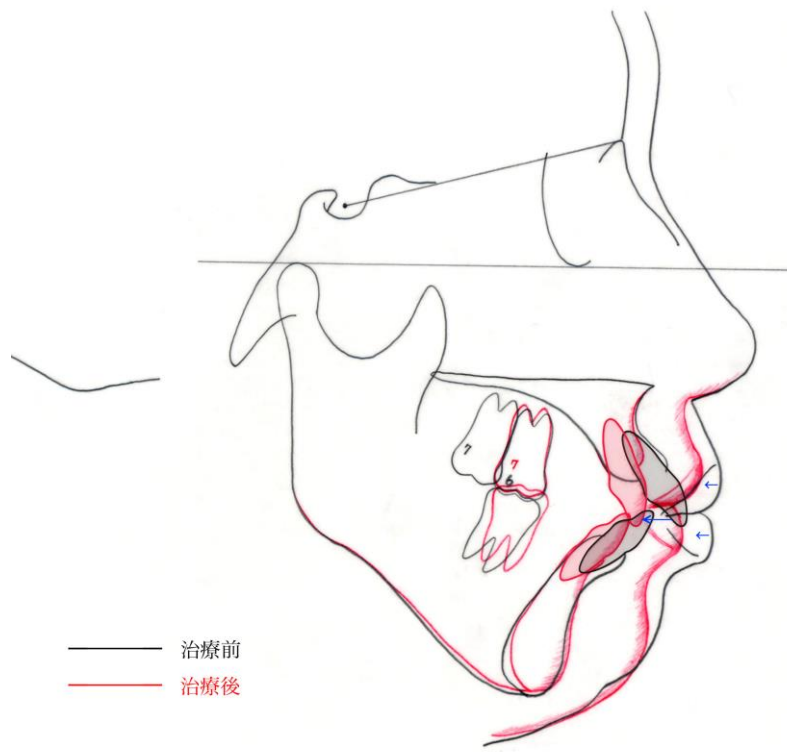


前歯は十分にひっこめられ、スペースも閉じています。上下の歯がしっかり咬むように
微調整を行っています。

前歯の移動距離がかなり大きかったため、長めの治療期間となりました。その後の検診にも定期的に来院されて
います。

■ 口元の改善





口元の変化の写真と横顔のレントゲンの治療前後の重ね合わせです。